

ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり/限定追加型)

(愛称：ザ・大企業16-04)

追加型投信/内外/資産複合

償還交付運用報告書

第8期 (償還日：2020年2月19日)

作成対象期間 (2019年10月16日～2020年2月19日)

第8期末 (2020年2月19日)	
償還価額	10,294円99銭
純資産総額	921百万円
第8期 (2019年10月16日～2020年2月19日)	
騰落率	△0.5%
分配金合計	－円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) (愛称：ザ・大企業16-04)」は、2020年2月19日をもちまして満期償還を迎えました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。長い間ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

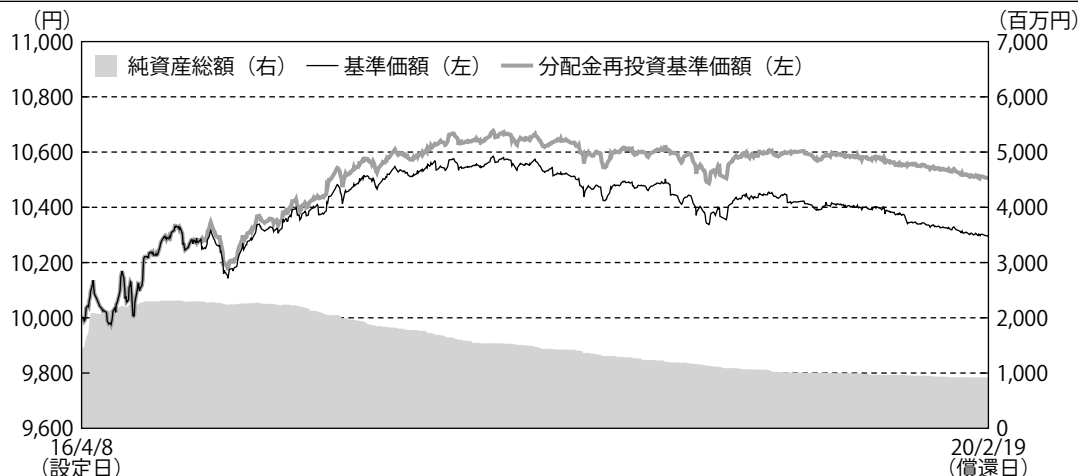
<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

■設定以来の基準価額等の推移について

(2016年4月8日～2020年2月19日)



設定日：10,000円

償還日：10,294円99銭 (既払分配金210円)

騰落率：5.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。主要中央銀行の緩和的な政策姿勢等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、ハイブリッド証券市場全体は上昇基調となりました。世界的にリスク選好の回復基調が続き、主要国株式市場が堅調に推移したことなども、ハイブリッド証券市場の上昇に寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2019年10月16日～2020年2月19日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	50円	0.489%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,323円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0.248)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.229)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.039	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(4)	(0.032)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	54	0.528	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

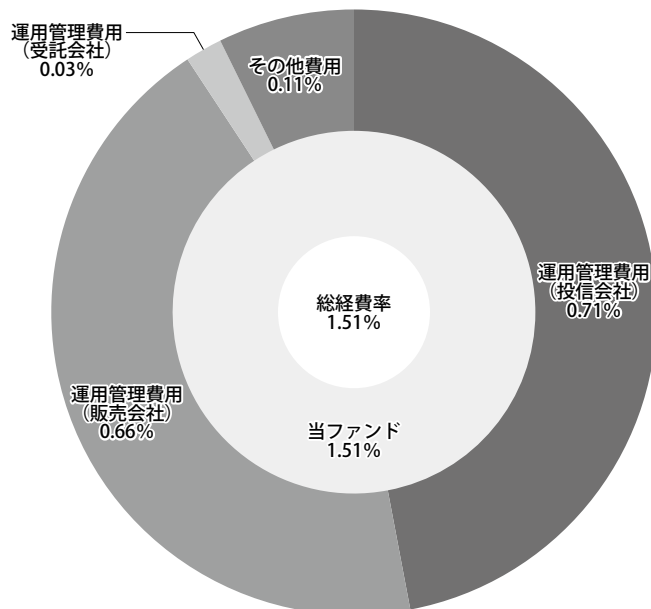
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

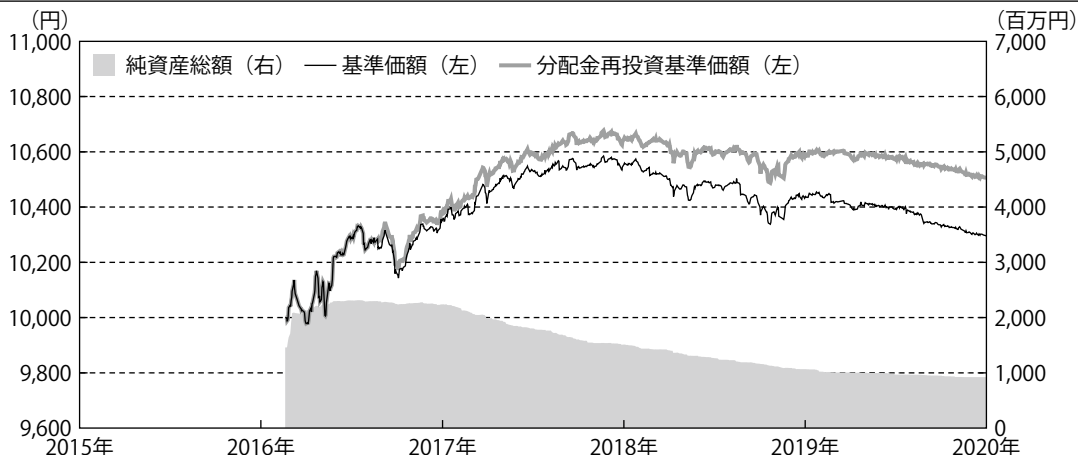
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2015年2月19日～2020年2月19日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2016年4月8日 (設定日)	2016年10月12日	2017年10月12日	2018年10月12日	2019年10月15日	2020年2月19日 (償還日)
基準価額	(円)	10,000	10,251	10,535	10,444	10,347	10,294.99
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	30	60	60	60	—
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	2.8	3.4	△0.3	△0.4	△0.5
純資産総額	(百万円)	1,459	2,291	1,691	1,190	960	921

- 当ファンドは、ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

(2016年4月8日～2020年2月19日)

主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り(長期金利*)は低下しました(価格は上昇)。各国中央銀行が緩和的な政策姿勢を維持する中、利回り狙いの資金流入等を背景に、長期金利は低下しました。世界景気に対する不透明感の強まりや、米中貿易交渉の難航、新型肺炎の感染拡大等を背景にリスク回避的な動きが顕著となった局面でも、安全資産としての国債需要から金利は低下傾向となりました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場では、主要中央銀行による低金利環境の継続を背景に、相対的に高い利回りに対する旺盛な資金需要等を受けて、上昇基調となりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

(2016年4月8日～2020年2月19日)

(当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ポートフォリオについては、期を通して通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、欧州主要国やアメリカ等への配分を高めとしました。

■ベンチマークとの差異について

(2016年4月8日～2020年2月19日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

基準価額水準等を勘案して、各期とも30円(税引前)といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきました。

当ファンドをご愛顧いただきましたことをここに厚く御礼申し上げます。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

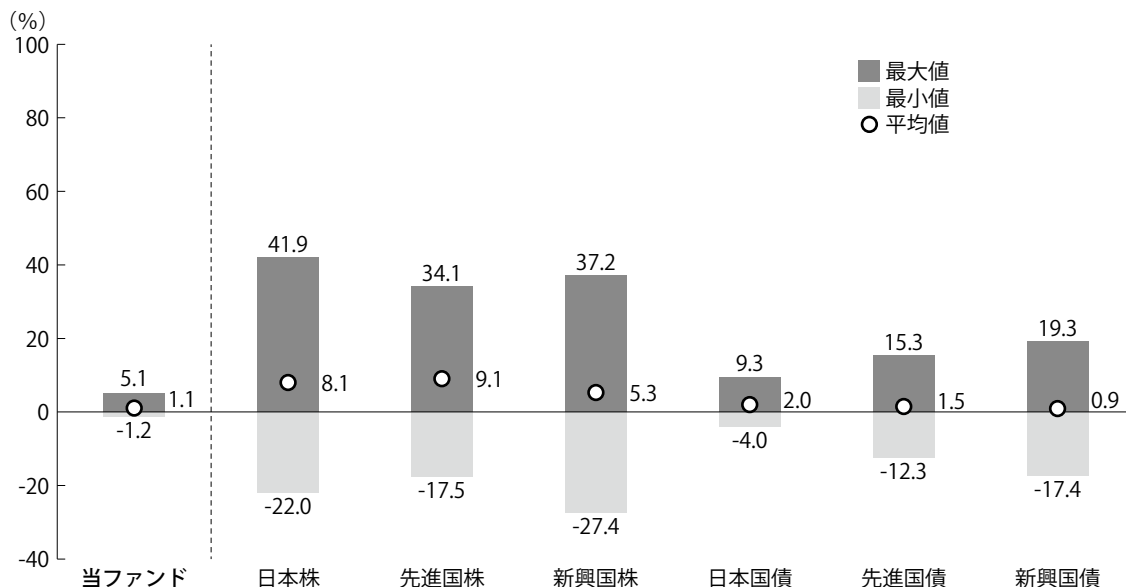
お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	2016年4月8日から2020年2月19日まで	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ドイツェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ドイツェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とします。
運用方法	主としてドイツェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。主に信託期間終了日前に償還(繰上償還を含みます。)が見込まれる証券に投資します。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	
分配方針	<p>毎決算時(原則として毎年4月12日及び10月12日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2015年2月末～2020年1月末)



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.1	8.1	9.1	5.3	2.0	1.5	0.9
最大値	5.1	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-1.2	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2015年2月～2020年1月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、当ファンドの設定日は2016年4月8日であるため、当ファンドの年間騰落率は2017年4月以降のものとなります。したがって、当ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- T O P I X (東証株価指数) は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。) の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I X の算出もしくは公表の方法の変更、T O P I X の算出もしくは公表の停止または T O P I X の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- M S C I コクサイ・インデックス及び M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク (以下「M S C I」といいます。) が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P I は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は N O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC (以下「J.P.Morgan」といいます。) が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的で J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否または J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

※組入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

■純資産等

項 目	償 還 日
	2020年2月19日
純 資 産 総 額	921,702,483円
受 益 権 総 口 数	895,292,165口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額	10,294円99銭

当期中における追加設定元本額は579,980円、同解約元本額は33,188,332円です。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年4月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年2月19日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	926,547,728円
受益権口数	1,459,955,582口	895,292,165口	△564,663,417口	負債総額	4,845,245円
				純資産総額	921,702,483円
元本額	1,459,955,582円	895,292,165円	△564,663,417円	受益権口数	895,292,165口
				1万口当たり償還金	10,294.99円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,235,424,681円	2,291,519,575円	10,251円	30円	0.3%
第2期	2,030,248,026	2,106,213,793	10,374	30	0.3
第3期	1,606,010,793	1,691,933,294	10,535	30	0.3
第4期	1,358,715,359	1,428,565,916	10,514	30	0.3
第5期	1,139,992,103	1,190,569,774	10,444	30	0.3
第6期	970,309,199	1,010,784,104	10,417	30	0.3
第7期	927,900,517	960,124,561	10,347	30	0.3

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。